

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
平成27年度 第3回事業普及委員会議事録

I. 日 時：平成27年11月19日（木）18：00～20：00  
場 所：私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者：向殿担当理事、今泉委員長、木村委員、宮脇委員

（事務局 井端事務局長、平田職員）

III. 検討内容

今回は主に機関誌2015年度 No.3に掲載予定の原稿確認を行った。

1. No.3の原稿確認

巻頭言、特集「教学マネジメントの試み」、「教育・学修支援の取り組み」の原稿を確認した結果、以下のとおり各原稿について追加・修正を筆者に要請することにした。

(1) 巻頭言

アクティブ・ラーニングの「・」を入れる。

(2) 特集「教学マネジメントの試み」

① 横浜国立大学

9月3日に本協会の「教育改革ICT戦略大会」で事例紹介いただいた内容が大学にとって多いに参考になるので、大会でご紹介いただいた内容に基づき、とりわけ下記の内容を中心に書き直しいただき、次号のNo.4に掲載を延期する。

[1]履修目標、到達目標

[2]教職学の協働

- ・IRに基づく、FD・SDの取り組みや、参加状況
- ・学生の協働

本文「学生発案型授業の企画など学生主体の取り組みを行って・・・学生目線から意見を発信しています。」をもう少し具体的に紹介いただく。

[3]IRの活用

- ・教育の状況を把握する手段として教学IRをどのように活用しようとしているのか。また、活用によって振り返りをどのように行おうとしているのか。予定や計画段階でもよいので、9月の大会で紹介いただいたIRの状況なども含めて紹介いただく。
- ・さらに、どのような点で教育活動を客観的に分析・評価しようとしているのか、その視点を紹介いただく。

[4]その他

- ・「3. 授業設計と成績評価ガイドライン」については削除し、ガイドラインの要点に関する本文は3分の1程度に短縮する。
- ・タイトル「教学マネジメントと教職学の協働による、教育の質向上に向けた取り組み」の教職学を「教・職・学」などにしていただけたほうがわかりやすいので、検討いただく。

② 芝浦工業大学

- ・掲載図は削除し、9月の大会で紹介いただいたPDCA、レーダーチャート、ループリックの効果、ポートフォリオシステムの一例の図に差し替える。特にレーダーチャートは重要なので必ず入れる。
- ・1. の「(3) 教育改革の推進体制の強化」を4. に追加する。
- ・ページを1ページ増やし、4ページとする。

③ 金沢工業大学

IR データとは何か説明するため、9月の大会で紹介いただいた図「分析データの準備と取り扱い」を入れ、空きがなければ「図4 学年別修学状況」はなくてもよい。

④ 徳島大学

- ・「1. 教育機能強化プランと教学マネジメント・チーム」は長いので、「1. 教育機能強化プラン」と「2. 教学マネジメント・チーム」に分ける。
- ・「図1 役員組織体制図」と「図2 AP事業の実施体制」は鮮明な画像に差し替える。

- ・「1. 教育機能強化プラン」「2. 教学マネジメント・チーム」「3. ミドルレベルのFD活動」は冗長なので全体で3ページに収まるよう短くまとめる。

⑤ 広島県立大学

- ・図中の文字が見えにくい図（特に図1）は拡大し、その他の図サイズは縮小するなど、レイアウトを工夫する。

⑥ 創価大学

- ・「さいごに」を「おわりに」に他原稿と同様に統一する。

⑦ 京都光華女子大学短期大学部

- ・図1を拡大し、超過する分は本文で削減の調整をいただく。

(3) 教育・学修支援の取り組み（追手門学院大学）

- ・規定のページ数を超えているので、「図4 簡易アンケート回答画面」または「図5 簡易アンケート集計結果表示画面」のどちらかを削除し、「図7 帳票のサンプル」「図8 OCR読取り装置」は削除する。
- ・「4. OCRとの連携」は簡潔にまとめる。
- ・その他に、4ページに収まるよう本文も削減の調整を行う。

## 2. 機関誌 2015年度 No.4 の企画

### (1) 特集

特集について検討した結果、No.3に掲載予定の「教学マネジメントの試み」の取り組みは、まだ紹介いただきたい大学も複数あることから、No.4も引き続き教学マネジメントをテーマとし、特集テーマを「教学マネジメントの試み(2)」とすることを確認した。

また、原稿の依頼先については検討した結果、以下の内容を中心にした内容で各大学に依頼することにした。

横浜国立大学：前記1.(2)①に提示した内容

福岡工業大学：教授方法の質的転換を方策としたアクティブ・ラーニングの全学的展開

武蔵野大学：長期学外学修プログラムの導入

大阪府立大学：eポートフォリオ等による学生の学びの状況把握、ICT活用による反転授業などのアクティブ・ラーニング

北九州大学：地域と連携した実践型教育プログラム

金沢大学：専門教育でのアクティブ・ラーニング深化、学修環境の整備、学修成果の可視化による学修評価・定量的評価の仕組み

### (2) 人材育成のための授業紹介

本協会の学問分野別の委員会などで委員として活動いただいている教員の方々の中で、初年次教育をテーマとして、他大学に参考となる事例を実践されている方から紹介いただいているかどうかの事務局案をもとに関連資料を見ながら検討した結果、下記の3名の方々に4ページずつ原稿を依頼することにした。

別府大学 文学部教授 西村 靖史 氏

京都産業大学 経営学部教授 佐々木利廣 氏

日本大学 理工学部教授 青木 義男 氏

### (3) 巻頭言

以前より執筆を相談している戸板女子短期大学に改めて依頼することにした。

### (4) 教育：学修支援の取り組み

事務局案をもとに、様々な教育システムの導入に取り組まれている江戸川大学、大妻女子大学に依頼することにした。

## 3. 次回委員会

今回は平成28年1月19日（火）または1月28日（木）の18:00から開催することにし、日程の確定は欠席委員の都合を伺った上で決定することにした。また、内容は主に、機関誌 2015年度 No.4 の原稿について確認することにした。